

世界難民の日 関西集会2019

WORLD REFUGEE DAY IN KANSAI

6月20日は国連が定めた「世界難民の日」。
この前後に世界中で難民に関する取り組みが行われます。



あなたは周りの『ひと』を
大切にしていますか？

6/23
SUN

11:30~16:30

開場 11:00

予約不要

資料代

一般 1,000円 学生 500円

WEBサイトはコチラ

<http://world-refugee-day.rafiq.jp/>



大阪市立住まい情報センター 3Fホール

大阪市北区天神橋6丁目4-20 TEL. 06-6242-1160

大阪メトロ「天神橋筋六丁目」駅下車3号出口連絡、JR環状線「天満」駅北徒歩7分
Osaka Sumai Joho Center (6-4-20 Tenjinbashi, Kita-ku, Osaka city)

当日の様子はUstreamにて中継します。

難民ナウ! TV

<http://www.ustream.tv/channel/nanmin-now>

REFUGEES
WELCOME



世界難民の日 関西集会2019

WORLD REFUGEE DAY IN KANSAI

「同じ時代、同じ地球に生きる市民として」

6月20日は国連総会で決定された「世界難民の日」です。毎年世界中でこの日に難民に関する取り組みが行われており、この関西でも集会を開いています。もしあなたのそばに、紛争や迫害から逃れて来た難民がいたらどうしますか？ そんな彼らの事をもっと知ってみませんか？ そしていま、私たちにできることはありませんか？



2018年の集会の様子

11:00 開場(ブース・写真展・パネル展 開始)



難民出身国の写真などの展示



関西の難民関係のNGOブースなど



パネル展「世界と日本の難民問題」



2018年、日本を訪れた外国人は過去最高の約3,119万人となり、ここ関西でも多くの観光客が行き交う風景が日常となりました。しかしこの日本には多くの外国人が私たちと共に暮らしています。

現在、在留外国人は約273万人、外国人労働者は約146万人に達し、さらにこの4月から「出入国管理及び難民認定法」の改正によって在留資格が拡大され、今後ますます日本には多くの在留外国人が増えていくと予想されます。

このように、日本は事実上の「移民国家」であるにも関わらず、外国人に対する人権意識は低いまです。ましてや、国際条約によって保護すべき難民については、日本では基本的人権すら守られていません。昨年日本へ保護を求めた難民認定申請者は10,493人でしたが、認定はわずか42人でした。

「移民」も「難民」も私たちと同じ人間です。まずは彼らの置かれている状況を知り、「人が“ひと”として当たり前」に暮らせる社会」となるにはどうしたらよいか、一緒に考えてみませんか。

11:30 集会開始

趣旨説明「日本の難民問題とは。」 宗田勝也氏 (難民ナウ! 代表)

講演1「世界は日本の人権状況をどうみているのか？」
藤本伸樹氏…一般財団法人 アジア・太平洋人権情報センター (ヒューライツ大阪) 研究員

講演2「裁判に勝っても難民認定されない国」
渡邊彰悟氏…全国難民弁護団連絡会議 代表

15:00

在日難民の話
「わたしたち難民の声をきいて」 在阪難民Mさん

報告「関西の難民支援の現場から」
田中恵子…RAFIQ共同代表

16:30 終了

※HPでは、難民の日に関連した関西の情報を順次掲載しています。詳細をご確認ください。

問い合わせ先：RAFIQ (在日難民との共生ネットワーク)
〒532-0002 大阪市淀川区東三国4-9-13「OSAKAなんみんハウス」
TEL・FAX:06-6335-4440 MAIL:refugeekansai@gmail.com

